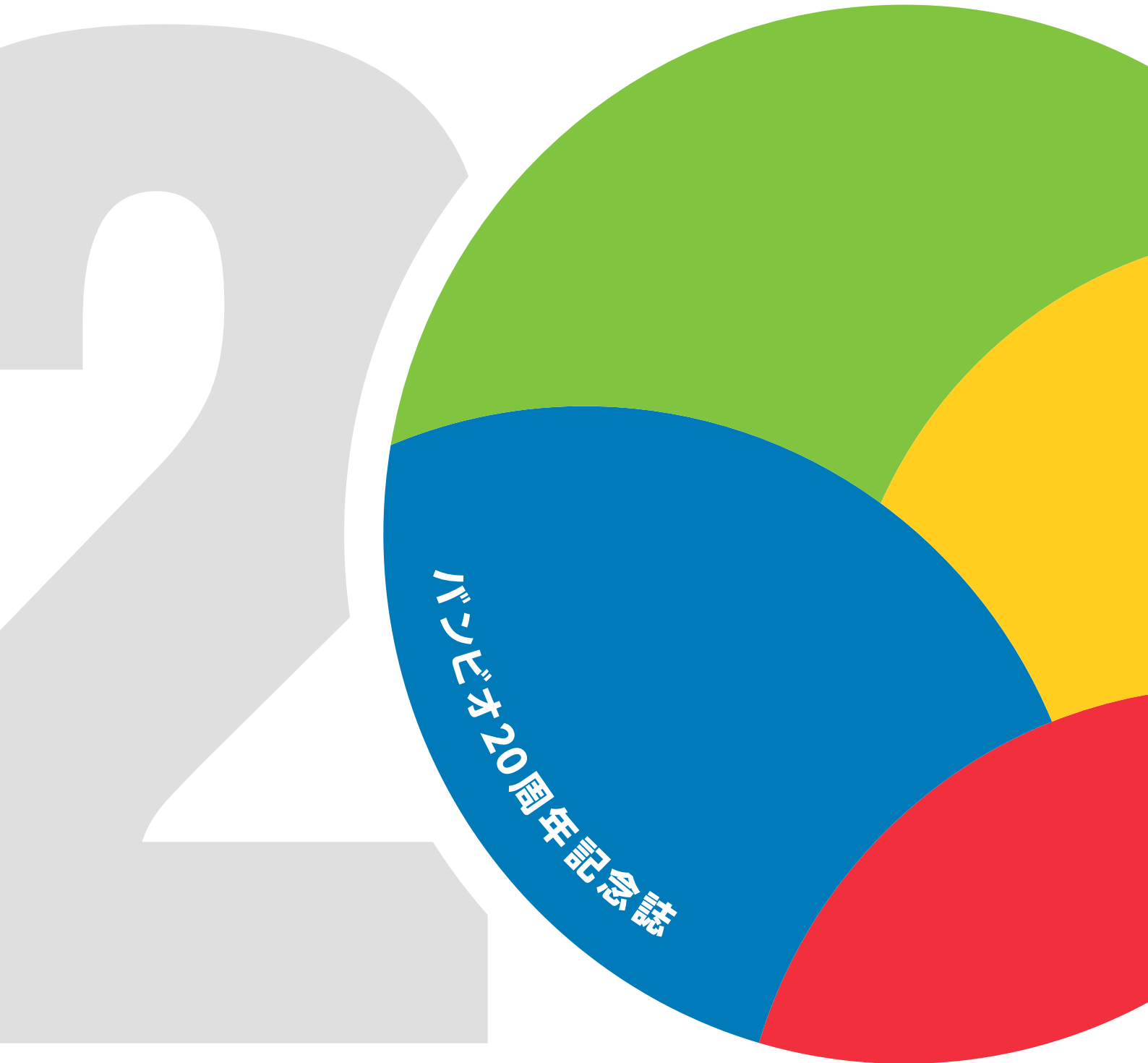


bambio

2005 - 2025

出会い、ふれあい、
—— そして未来へ。





bambio

出会い、ふれあい、
そして未来へ。

人と人が出会い、ふれあい、
にぎわいを育んできたバンビオ
は、2025年6月に開業20周年
を迎えました。この20年間、地域
の皆さまとともに歩み、交流の
場として親しまれてきたことに、
心より感謝申し上げます。

これからも、にぎわいの拠点
として地域の皆さまと歩みなが
ら、未来へ向けて新たな一歩を
踏み出します。



情報発信

相談

憩い

集い

2005

更なるにぎわいの場へ

2025





2012年8月撮影



長岡京市長
中小路 健吾

JR長岡京駅西口の再開発によって生まれた「バンビオ」は、平成17年6月のまちびらきから、今年で20周年を迎えました。

長岡京駅西口のまちづくりは、平成元年3月の神足駅西口地区市街地再開発事業基本構想からスタートし、平成4年11月には市街地再開発準備組合が設立されました。

事業を進める中では、バブルの崩壊、核となるテナントの撤退といった困難に直面しましたが、関係者の皆さまの強い信念と信頼関係で乗り越えられ、13年余りの歳月を経て、平成18年1月にすべての施設の工事を完了しました。

バンビオの愛称は、長岡京市の名産「竹」の「バンブー（英語）」と、再開発で生まれる「交流」の「スカンビオ（イタリア語）」を合わせたものです。四色からなるシンボルマークには、西山の緑、小畑川や小泉川の潤い、明るい街並み、市民

の活力が交差する想いを込めています。

まちびらき以来、バンビオは生涯学習や市民活動など、交流の拠点として歩みを重ね、また、夏はサマーナイトカフェ、冬はイルミネーションなど、長岡京市の玄関口という立地を活かし多くの方に愛される施設として、長岡京市のブランドコンセプト“かしこ暮らしっく”を象徴する存在となっています。

再開発事業の立ち上げからご尽力をいただいた皆さま、まちびらきから今日に至るまで支えていただいたテナントの皆さまに、あらためて感謝を申し上げるとともに、心からの敬意を表します。

この冊子は、バンビオの歴史を振り返りながら、建設や運営に携わってこられた方々の声を収録し、バンビオの未来を想像できるように作成しています。

この冊子が、市民としての誇りと愛着を育む一助となれば幸いです。



長岡京市バンビオ広場公園等にぎわい創出事業実行委員会
会長

佐藤 尚厚

バンビオは「出会い・ふれあい・そして未来へ」のまちづくりをコンセプトとして、平成17年6月の「まちびらき」から20年が経ちました。

こうして、「バンビオ20周年」を迎えることができたのも市をはじめとする関係者の皆さまのご支援・ご協力とこれまで、たくさんの方々の施設等のご利用があったことだと感謝しております。

振り返りますと、長岡京駅西口地区再開発事業そのものの存続が危ぶまれた時期もありましたが、再開発組合理事長の山口様をはじめ、当初よりこの事業を先導してくださった先人の方々の努力や熱意があったからこそ、今日の成功につなげることができたものと思っています。

バンビオ広場でのイベントやギャラリーでの催し、公園内で遊ぶ子どもたちや学生等の演奏などを見るたびに多くの市民

に愛され、親しまれてきたことを実感しております。

これまでバンビオが、人と人が交流する場として、まち全体の「にぎわい」創出における中心的な役割を果たすことで、バンビオという名も市民や利用者だけでなく、たくさんの方々に浸透してきたものと自負しております。

今後は時代に応じた種々のイベントや催しはもちろん、ここバンビオを人・モノ・情報が集まる場所、「にぎわい」を創出・発信する場所、まちの鼓動が聞こえる場所として、次世代に引き継いでいけるように尽力してまいりますので、関係者皆さまのこれまで以上のご支援ご協力をお願い申し上げます。

結びにあたりまして、皆さま方の今後のますますのご健勝とご繁栄をお祈り申し上げます。

バンビオ 20 周年記念インタビュー

逆風を乗り越え、市民に寄り添うにぎわいの場へ

構想から完成まで十数年。商業テナント撤退による事業の見直し、バブル崩壊を受けて厳しさを増した経済状況——様々な逆風を乗り越えて、まちなぎわいの場として、市民の暮らしに寄り添うバンビオ。再開発事業に関わったキーパーソンが語る、“あのとき”と“これから”を紹介します。



(左上) 佐々谷、塚野、奥村、中井 (左下) 右川、山本、佐藤、野村、中川 ※敬称略

逆境から全てが始まった

佐藤 大型商業テナントの撤退は本当に大きな出来事でした。最初はショックでしたが、結果的には新たな計画への転換点になったのが良かったと思っています。地権者の方との交渉は、皆さんの大変なご苦労があったと思います。

山本 土地の売買や補償額の調整など、バブル崩壊によってすべてが変わりました。国や市との交渉、利害の調整……、一つ一つ丁寧に進めるしかありませんでした。結果として、地元の皆さんの協力で乗り越えられたと思っています。

中井 当初計画が白紙になったことで、現実的なプランに切り替えるこ

とができました。商業施設は1層に縮小され、マンションの規模も見直されました。今振り返ると、あの撤退は“成功の始まり”だったのかもしれません。

中川 新しい再開発計画のなかで、市が公共施設を入れてくれたことがとても大きかったです。公共施設の存在が“まちに人が集まる構造”をつくったと思っています。

右川 振り返ると、まさに適材適所。当時関わった皆さんは“昔気質”の熱量のあるタイプ。それがこの再開発には必要だったんだと思います。

野村 私は当時、建設や開発の知識はゼロ。地権者の交渉に苦労はありましたが「市のためにやらなあかん」と

いう気持ちで必死で取り組みました。

奥村 当時の皆さんは、普通の行政の方とは違う判断をされる方、野村さんは、地元の人に寄り添う方。これまで全国の再開発に関わってきましたが、バンビオは関わる人と経済的タイミングが噛み合った典型的な成功事例だと思います。

地域に愛されるバンビオ

右川 当初の計画になかった広場公園は、ただの空間ではなく、劇場のように「人が自然に集まる演出の場」にしたかった。また、西進の道路拡幅も再開発がきっかけとなって早期に長岡天満宮に向かって進む事を期待したものです。

奥村 今の再開発は、高層マンションの下に商業施設が入るタイプが主流。でもバンビオは違う。ここは地元の人が住み、使い、集まり、地域に根づいています。完成当初は「どう受け止められるかな」と少し不安もありましたが、今は本当に、愛着を

持って使い続けてくださっているのは、設計者として幸せな気持ちです。

中井 20年前では、今のこの景色はなかなか想像できなかった部分もありますが、ゾーニングの妙もこのエリアの強み。住宅を奥まった場所に配置することで、商業施設と距離が生まれ、街に落ち着きと余白ができて、静けさとにぎわいが共存する空間になっています。

未来につなぐ“まちづくり”

塚野 20年ぶりに現地を訪れて、噴水で遊ぶ子どもたちの姿を見たとき、思わず胸が熱くなりました。当時と同じ光景が、今も残っている。1階の子育て支援施設のにぎわいも健在で、本当にうれしかったです。

山本 私たちが目指していたのは、「便利さ」と「のどかさ」の両方がある長岡京らしいまちでした。駅前にはにぎわいがあり、少し歩けば自然が広がる。そんな“いいとこどり”のまちを未来に残したいという思いでした。

奥村 旧工場跡地の地権者さんは自社の敷地だけで計画を完結させようとしていました。でもそこに、行政が「それではだめだ」とストップをかけ、まち全体の構想に切り替えた。その判断がなければ、バンビオは今の姿にはなっていなかったと思います。



当時の駅前再開発エリア

中川 まちづくりは、市民だけでできるものではありません。行政、民間、そして地域——この3者がそれぞれの役割を果たすことで進められていくものです。行政が舞台を整え、民間が動き、地域が支える。これからもその連携が必要です。

山本 今回のような再開発の経験を、次の世代へつないでいってほしいと思います。今は再開発が難しい時代かもしれませんが、それでも「まちの未来のために動こう」と思える人がいてくれたら、こんなにうれしいことはありません。

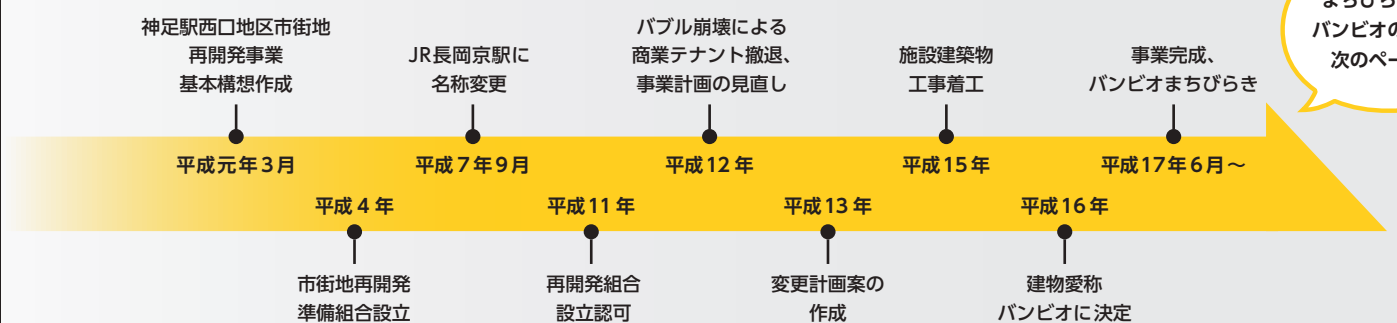
誌面では伝えきれなかった、開発エピソードを公開しています！

長岡京市の魅力発信サイト **SENSE** -NAGAOKAKYO-



まちびらき後のバンビオの歩みは次のページへ

まちびらきまでの歩みダイジェスト版



バンビオ20年の歴史

まちびらきから20年。バンビオは、市民の活動の場として地域とともに歩んできました。サマーナイトカフェやイルミネーションなどの催し、台風被害やコロナ禍を乗り越えながら、多くの出会いと交流を育んできた「にぎわい」の場所です。地域住民が集い、学び、未来をつくる20年の軌跡がここに刻まれています。



まちびらきの2年後にサマーナイトカフェが開催。バンビオの夏の風物詩はここからはじまりました。

2007

サマーナイトカフェ
開催

花子百貨店開催 (2006年～)



2012

生産者と交流しながら
地元の農産物を買える
ふれあい市



バンビオイルミネーション開催
まちびらきと同年にイルミネーションを開始。毎年内容を更新し、市民の皆さまに親しまれております。

2015

バンビオ10周年
記念式典開催



記念式典や記念事業が行われました。



ふれあい朝市・夕市
(2006年～)



駅前広場コンサート開催
(2012年～)

2005

バンビオ完成、
まちびらきフェスティバル開催

大勢の来場者でにぎわい、さまざまなイベントや市民による発表が行われました。



コロナ禍による
館内休業

2022

バンビオ2番館外壁
リニューアル



平和堂
リニューアル

2019

バンビオ駐輪場
リニューアル

地域に密着した
情報やイベント、
行政情報を発信



FMおとくに開設



バンビオ七夕まつり
(2008年～)



竹を使用した
イルミネーションを開始

2025

バンビオ20周年を迎える



バンビオ20周年
20th
ANNIVERSARY

女性交流支援センターから男女
共同参画センターへ名称変更

総合交流センター事務所移転
(長岡京市役所内へ)

教育・福祉連携拠点
「らしっく」開設

ガラシャウィーク
(2008年～)



ガラシャ祭までの
約1週間、様々な
イベントが開催

2023

長岡京の竹を活かした
幻想的なイルミネーション
毎年変わるテーマが
魅力の人気イベント



Special NEXTバンビオ

バンビオ20周年記念インタビュー

Interview 01 “憩いとつながり”が生まれる場所に

茶園厚子さん（カフェエポカ 所長）



実は、バンビオで働き始めるまで、この施設のことをほとんど知らなかったんです。「こんな場所があったんだ」と驚いたのを覚えています。それから19年。イベントや災害時など、さまざまな場面でバンビオが地域の拠点になってきたことを肌で実感しています。

エポカは福祉事業の一環として、市の指定管理で運営しています。就労支援の場であり、同時に市民の憩いの場。お客様と利用者さんが自然に会話を交わす姿を見るのがうれしいですね。店内では乙訓地域の福祉施設でつくられた授産品の販売も行っており、日々地域とのつながりを感じます。これからも、居心地のよい空間づくりと、地域とのつながりを大切にしていきたいです。

バンビオ 1 番館 | 1 階

カフェエポカ
(就労継続支援 A 型事業所)

Interview 02 “健康づくり”を地域のにぎわいへ

大石真也さん（コ・ス・パ長岡京 支配人）



コ・ス・パ長岡京も、今年で20周年を迎えました。4か月の赤ちゃんから90歳を超える方まで、幅広い世代の方が通ってくださっていて、地域に根ざしたクラブとして歩んでこられたことに感謝しています。

駅から歩道橋を渡ってすぐという立地の良さも、「通いやすく続けやすい」と選ばれる理由の一つになっています。6階にある全面ガラス張りのプールは開放感があり、ご好評をいただいています。

かつてスクールに通っていた子どもが成長し、今は大学生としてアルバイトに来てくれています。当時のコーチと楽しそうに話している姿を見ると、地域とのつながりを実感します。

今後は水泳授業の受け入れや健康イベントなど、一般の方にも開かれた取り組みを広げ、地域のにぎわいに貢献していきたいです。

バンビオ 2 番館 | 6 階

コ・ス・パ 長岡京

にぎわいから始まる、未来の物語。

バンビオの20周年を記念して、テナントの方々にインタビューを行いました。この特集では、カフェエポカ、コ・ス・パ、中央生涯学習センター、フレンドマートの皆さんに、バンビオとの日々のつながりや、これから目指す「にぎわい」の未来について語っていただきました。

Interview 03 地域とひらく“学びと交流”の扉

大岩由和さん（中央生涯学習センター センター長）



朝から親子連れやくつろぐ方々でにぎわう1階フロア。児童コーナーやエポカさんの存在もあって、人の流れを日々感じています。コロナ前の利用状況に戻りつつあるだけでなく、新たな団体や個人の方の利用も増え、変化のあるにぎわいが広がっているように思います。最近は「マルシェ in バンビオ」という展示イベントを企画しました。サークル活動や作品展示を通じて、利用者さんとスタッフの自然な会話も増え、管理者と利用者という枠を超えた交流が生まれています。

バンビオの存在は知られていても、中で何をしているのかまでは知られていないことも。もっと気軽に知ってもらい、利用していただけるきっかけを作りたいです。

地域の企業や学校とも連携し、バンビオが“まちのにぎわいの核”になっていけると願っています。

バンビオ 1 番館 | 1 階

中央生涯学習センター

Interview 04 “にぎわいの波”をまち全体へ

中野正義さん（フレンドマート長岡京店 店長）



駅前に広場と公園があるバンビオは、とても貴重な場所です。朝は高齢の方、昼は主婦、夕方は仕事帰りの方と、時間帯によって来店されるお客様の層が変わり、多様なにぎわいを感じます。

特にイベントのある週末には、買い物とあわせて訪れる方も増え、施設全体に活気が広がります。私もできるだけ現場の様子を見に行き、盛り上がる雰囲気に触れられるのが楽しみです。

目指したいのは、日常の中にある“にぎわい”。週末や定期的に「何かやっている」という期待感が根づくよう、地域とともに工夫を重ねていきたいです。

次の30年、40年と続けていけるように、お客様を大切に、喜んでもらえることを第一に、仲間と力を合わせて取り組んでいきます。

バンビオ 2 番館 | 1 階

フレンドマート長岡京店

にぎわいイベント

春

Spring



夏

Summer



秋

Autumn

パンビオ 主なイベント

花子百貨店
お花や植物をテーマにした、ハンドメイド雑貨などのフリーマーケット

七夕まつり
市内保育所や幼稚園の子どもたちの願いが書かれた短冊をパンビオ広場公園に飾る七夕イベント

サマーナイトカフェ
市民による音楽パフォーマンスと、飲食ブースでにぎわう夏の風物詩

青空個展市、ものづくり市
アート作品や手づくり雑貨が並ぶ、開放感あふれる屋外市

長岡京ガラシャ祭
明智光秀の娘・玉（細川ガラシャ）の興入りを再現するまつり

イルミネーション
パンビオ広場公園を光で彩る、冬の風物詩





バンビオについて



バンビオ 1 番館

市民の集い、ふれあい、学びの場

バンビオ1番館は、市民が交流し、活動する目的でつくられました。貸施設の利用や市立図書館の本も返却できます。小さなお子さんが遊べる児童室、また、施設の予約ができるキオスク端末を設置しています。市民の交流フロアとしてみなさまに利用いただいています。

テナント一覧 ※順不同

1 階	7 階
クローバー鍼灸院	医療法人社団 千春会
やきとり大吉 長岡京店	千春会ハイパーサーミアクリニック
Farm & Teatime Riyou	医療機器販売
乙訓旬菜 和み	株式会社ジェイ・シー・ティ
居酒屋 こうた里	駅前留学NOVA 長岡京バンビオ校
やきとり かじ庵	一般財団法人 長岡記念財団
	長岡京駅前メンタルクリニック
2 階	しょうがい者就業・
ヘアメイクポリッシュ 長岡京店	生活支援センター アイリス
旬菜魚 くらしま	長岡京都市開発株式会社
株式会社カナイ	

※ 2025年7月現在

総合交流センター

1 階：市民交流・活動

貸施設申込、図書館返却、カフェ、児童室など、市民の皆さんの交流と活動をサポート

行政サービスコーナー（中央生涯学習センター受付）
市民活動サポートセンター
オープンラウンジ カフェ エボカ
ピロティおとくに（一般財団法人 乙訓勤労者福祉サービスセンター）
FM おとくに

2 階：地域福祉・観光

駅から直結のギャラリー、地域福祉、観光情報、レンタサイクルなど、多様なニーズに応える
総合生活支援センター / 観光情報センター

3 階：メインホール・文化創造

竹で囲まれた 400 名収容のメインホール、特別展示室、リハーサルスタジオなど、文化芸術活動の発信拠点

4 階：貸施設

少人数から 40 名まで対応の会議室、学習室、交流室など、様々な用途に使える貸し部屋を用意

5 階：教育支援・子育て

教育相談や不登校支援など、教育に関するサポート
教育支援センター / 教育・福祉連携拠点「らしっく」

6 階：男女共同参画・生涯学習支援

男女共同参画推進、生涯学習団体支援、調理室、和室など、多様な学びと活動を応援
男女共同参画センター「いこーる」プラス / 生涯学習団体交流室

7 階：民間事業者専用

医療、学び、オフィス

バンビオ 2 番館

幅広い年代に対応した店づくりと豊かな生活の場

バンビオ2番館は、平和堂や飲食店、歯科、フィットネスなど多様なテナントが入居する複合施設で、駐車場、駐輪場もあります。

【地下、1 階】
バンビオ自転車等駐輪場

【2 階～5 階】
長岡京市営長岡京駅西駐車場

テナント一覧 ※順不同

1 階	フレンドマート 長岡京店
	源輝家
	ファミリーマート
	医療法人 清風会 坂根歯科診療所
	クリーニングアクア 長岡京店
2 階	ドコモショップ 長岡京店
	スマホ修理工房 長岡京店
6 階	フィットネスクラブ コ・ス・パ 長岡京

※ 2025年7月現在

バンビオ20周年記念誌

発行日 令和7年11月1日
発行 長岡京市
制作 長岡京都市開発(株)
編集 ふるふる長岡京
撮影 &mederu ayano
デザイン 555 DESIGN
印刷 株式会社 千真工藝



bambio